

10. 水産情報統合発信事業

志村 健

目的

本県沿岸・沖合漁業者および一般県民へ、漁海況情報及び試験研究成果を判りやすく紹介し、情報提供の充実、拡大をはかる。

方法

- ①海洋観測結果、試験研究成果、水産試験場業務について、漁業協同組合等の漁業関係施設ならびに水産事務所等の県関係施設に大型ポスターを設置する。また、合同発表会、大地と海のフェスティバル、境港水産祭り等に大型ポスターを展示する。
- ② 水揚げ情報、衛星画像、試験操業情報、魚群情報等をFAXおよびホームページ等で情報提供する。
- ③ 海況及び浮魚類、底魚類、イカ類の漁況並びに今後の動向について境港漁海況連絡会議を年2回、12月及び3月に開催する。沖合底魚の漁況及び今後の動向について、解禁前の8月に水揚げ漁協での説明会を実施する。沿岸イカ類の漁況及び今後の動向について3月に水揚げ漁協での説明会を実施する。

結果

- ①大型カラーポスターは、漁業関係施設としては、県内漁協（支所）23カ所、気高町遊魚センター1カ所、境港水産物直売センター1カ所、県施設としては、水産事務所2カ所、県庁県民室1カ所、県庁内1ヶ所、海友館1カ所、水産試験場1ヶ所、栽培センター1カ所、夢みなとタワー1ヶ所、西部県民局1ヶ所に設置し、海況情報を月1回配布した。

また、10月開催の境港水産祭りで試験場の研究概要について展示した。11月開催のとっとり大地と海のフェスタにおいて試験場紹介やLEDを用いたケンサキイカ漁獲実証調査に関する展示を行った。

- ②境港におけるまき網及びスルメイカの水揚げ情報、栽培漁業センター取水口における水温、隠岐島定期フェリーによるXBT観測については、旬ごとに県内漁協、各県水試、新聞社、水産研究所等91カ所にFAXにより配布した。海洋観測結果、調査船調査速報、境港の漁獲量や市場の写真、水温衛星画像についてはホームページ<http://www.pref.tottori.jp/suishi/>にアップデートするとともに、適時水産

関係者等にFAX文書を送信した。また携帯電話でも衛星画像を閲覧できるようにした。

<http://www.pref.tottori.jp/suishi/i/index.htm>：携帯電話用ホームページ

- ③まき網及びイカ釣漁業を対象とした境港地区漁海況連絡会議を7月、11月、3月に開催した。7月の会議ではマアジ新規加入量およびクロマグロの資源状況について、11月の会議では、2006年南下漁期における漁況・海況の見通しについて説明した。また、3月の会議では2007年北上期における漁海況の見通しについての説明を行った。

沖合底曳網を対象とした沖合底曳網漁期前調査報告会を8月に鳥取県漁協網代港支所及び田後漁協において開催し、解禁前の沖合底魚類の分布状況について説明した。

沿岸イカ釣りの今後の見通しについて3月に網代港漁協及び田後漁協において説明会を開催した。